

花 道路環境美化活動 で町に彩りを

毎年、花いっぱいの町並みを目指して取り組んでいる花植え活動。今年は6月5日から26日にかけて、北沢町内会や下郡鶴亀会など9団体が参加しました。色鮮やかなマリーゴールドやペゴニアなどを道路沿いの花壇に植えました。

参加者は「仲間たちと一緒に活動できるのは楽しい。沿道に咲く色とりどりの花たちを見て、道行く人が笑顔になってくれればうれしい」と話しました。

1 北沢町内会 2 下郡鶴亀会 3 桑折創生婦人会 4 谷地シニアクラブ 5 日赤奉仕団 6 道林花壇 7 追分長寿会 8 上郡鶴亀会 9 荒屋敷婦人会（敬称略、実施順）皆さんのおかげで町中が花いっぱい



地域を守る 消防団員募集

町の安全を守り
安心して暮らせる生活のために――

興味のある人は下記までお問い合わせください。

生活環境課 危機管理係 ☎ 582-2123



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

桑折町は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

桑折町
LINE
@kooritown

スマホに町からの情報が届く！

お友達
募集中



問 総合政策課 広報広聴係 ☎ 582-2115

若 桑折シェアオフィス「Hatch」オープン 手事業者の創業を支援

桑折まちづくりネットは6月17日、桑折シェアオフィス「Hatch（ハッチ）」の開所式を行いました。

これまで同団体が空家相談所として活用していた建物の空き部屋を改修し、シェアオフィス3室、コワーキングスペース、共有スペース各1室を新たに備え、さまざまな働き方や創業者の準備をする場所として利用できる施設に生まれ変わりました。

同団体の藤倉伸祥代表は、「これまでの空家相談に加え、若手事業者の創業支援で活気を取り戻したい」と期待を込めました。



▲古屋の和の趣を活かしたコワーキングスペース

桃 ミスピーチ来庁 の魅力を全国へ発信

今年で60代目となる「2022 ミスピーチキャンペーンクルー」が7月7日、役場を訪れ、町長や職員に活動の抱負を述べました。

ミスピーチは10人からなり、「くだもの王国ふくしま」の魅力を発信するため、県内をはじめ日本国内外で、果物の販売促進や消費宣伝PR活動を行います。高橋町長は「60代続くミスピーチのこれまでのご活躍に感謝している。本町もいよいよ桃の出荷時期を迎え、8月1日には献上桃の選果式も行われる。品質の高い桑折町の桃、福島を、全国各地へPRしていただきたい」と激励しました。



▲「愛情がこもった農産物を、心を込めてPRしていきたい」と話すミスピーチ

子 リトルオリーブこども基金「まごころ直送便」 子どもたちに野菜や果物をプレゼント

被災地の子どもたちへ支援をう「リトルオリーブこども基金」のスタッフ8人が6月18日、児童館を訪れ、児童らへ「まごころ直送便」を贈りました。

「まごころ直送便」とは、新鮮な野菜や米、果物などを、農家から直接仕入れ、子どもたちへ届ける事業で、昨年に引き続き桑折町の子どもたちへ贈られました。この日は、かぼちゃやきゅうり、すいか、りんごなどが贈られたほか、外国人のスタッフがそれぞれの英語の発音を教えるなど、子どもたちとの交流も図りました。



▲箱いっぱいに詰められた新鮮野菜や果物を受け取り、感謝を述べる児童

自 ヘアドネーション感謝状贈呈 分の髪を、誰かのために

桑折ライオンズクラブは6月15日、病気やけがで髪を失った子どもたちの医療用ウィッグ（かつら）を作るために、髪の毛を寄附する「ヘアドネーション」の活動に参加した幕田里音さん（伊達崎小6年）へ、感謝状を贈呈しました。

幕田さんは、学校の友達が同活動へ参加していることを知り、自分も参加してみたいと、1年生から伸ばし続けてきた髪を40cmほど切りました。幕田さんは「このように表彰していただきうれしい。髪が伸びたらまた寄付したい」と話しました。



▲（左から）母・幕田香里さん、里音さん、高橋幸子会長